

MARCO シンポジウム 2009

モンスーンアジアにおける 農業環境問題と研究の課題



2009.10.5 MON - 7 WED

つくば国際会議場

- 主催：独立行政法人農業環境技術研究所 (NIAES)
- 後援：農林水産省農林水産技術会議事務局 (予定)
- 使用言語：英語

参加費無料
(事前登録制)

MARCO Symposium 2009

Challenges for Agro-Environmental Research in Monsoon Asia

開会式

10月5日(月) 9:30 ~ 10:10

全体会議 (同時通訳あり)

10月5日(月) 10:15 ~ 17:15

基調講演

10:15 ~ 11:10

モンスーンアジアの自然と農業

久馬 一剛 (京都大学名誉教授)

講演 1

11:10 ~ 11:50

アジア農耕地の重金属汚染の現状

Yongming Luo (中国科学院土壤科学研究所、中国)

講演 2

11:50 ~ 12:30

モンスーンアジア地域における農業食糧植物遺伝資源の保存と利用

河瀬 真琴 ((独)農業生物資源研究所)

講演 3

13:40 ~ 14:20

気候変化に強いイネの生産体系と国際協力

Holger Meinke (ワーゲニンゲン大学 (UR)、オランダ)

講演 4

14:20 ~ 14:55

穀物・植物貿易による外来植物の導入と生物多様性への影響

小沼 明弘 ((独)農業環境技術研究所)

講演 5

14:55 ~ 15:30

東アジアにおける食料生産・消費による窒素フローの変化とその環境への影響

新藤 純子 ((独)農業環境技術研究所)

講演 6

16:00 ~ 16:35

土地利用と炭素ストックを宇宙からとらえる -ラオス焼畑生態系における研究から-

井上 吉雄 ((独)農業環境技術研究所)

講演 7

16:35 ~ 17:15

地球温暖化時におけるアフリカの土地荒廃

大気中の二酸化炭素増加による施肥効果によってアフリカの土地荒廃はかくされるのか?

Paul L. G. Vlek (ボン大学開発研究センター、ドイツ)

ワークショップ

WS-1

10月6日(火) 9:00 ~ 17:00
7日(水) 9:00 ~ 12:00

植物機能を利用した農作物中の重金属低減技術の開発

コンピーナー：荒尾 知人、牧野 知之 (8日：現地検討会)

WS-2

10月6日(火) ~ 9日(金)

地球温暖化に伴う農作物高温障害の発生、予測と適応戦略

コンピーナー：長谷川 利弘、酒井 英光

WS-3

10月6日(火) 9:00 ~ 17:00
7日(水) 9:30 ~ 12:00

モンスーンアジアの植物資源とアレロケミカルの探索

コンピーナー：藤井 義晴、加茂 綱嗣

WS-4

10月6日(火) 10:00 ~ 17:00

水田を中心としたモンスーンアジアの農業生態系と生物多様性

コンピーナー：安田 耕司、山本 勝利 (7日 9:00 ~ 12:00：現地検討会)

WS-5

10月6日(火) 9:00 ~ 17:00
7日(水) 9:00 ~ 12:00

農業研究におけるメタゲノミクスの展望

コンピーナー：對馬 誠也、藤井 毅

全体会議 総合討論

10月7日(水) 13:00 ~ 15:00

お問合せ ●事務局 (独)農業環境技術研究所 連携推進室
TEL: 029-838-8181 FAX: 029-838-8148 coord@niaes.affrc.go.jp

参加申込は、
ウェブサイトからお願いします。

<http://www.niaes.affrc.go.jp/marco/>